

21/2/12 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 石垣・埋蔵文化財部会（第40回）
名古屋市民オンブズマンによるメモ

13:34

鈴木保存整備室長：はじめる

緊急事態宣言を受け、リモート

不慣れ ご不便をおかけするかも ご理解を

佐治より挨拶

佐治所長：急遽オンライン会議

開催に向けて協力いただきありがとう

議事5件

基本方針としてとりまとめ、1/8 全体整備検討会議で報告

本日説明

予算案公表 名古屋城観覧収入が大幅減収

本丸石垣積みなおし予算

今後補正予算を要求していく予定

ボーリング調査について説明

文化庁からの指摘事項 レーダー探査、内堀発掘調査

オンラインでなければ現場をご覧いただきたかった

個別でも対応

指摘事項すべて着手

年度内にとりまとめ、4月に文化庁に提出したい

緊張感をもって取り組む

鈴木：出席者紹介

録音・録画はここまでとさせていただきたい ご協力を

資料確認

進行は北垣座長にお願い

北垣：本丸搦手馬出石垣修復 事務局から紹介

鈴木：説明する

わからなければ手を挙げて

1～13 1/8 全体整備検討会議に示した資料

そのときに頂戴した意見を踏まえて修正したものを送付した

1-1 まとめ

14~15 これまで部会で説明したものをブラッシュアップしたもの

16~17 あらたに作った資料

名古屋城：1-1 全体をまとめたもの

石垣の修復状況 1-2

解体範囲 1-3

事業範囲 1-4

これ以上の解体を前提とせず

修復基本方針

孕み出し原因の推定

・石垣構造の検討 1-6 1-7

・修復勾配の検討 1-8 1-9

・石材再利用方針 1-10 1-11 1-12

今後のスケジュール 1-13

全体整備検討会議 意見

・孕み出し 土も動く 上のほうが沈下するはず

30センチくらいだと計算が合わない？

資料1-16 おおむね妥当

・軟弱地盤 突石が沈下した？

裏込石も沈下した

・軟弱地盤 地震の時

一般論の時注釈

注釈として加えた

搦手馬出 排水計画 1-14

4つの色分け

1-17 修復の基本方針 諮っている

修復検討 緊急事態宣言中は修復検討、工事等はできない

北垣：ありがとう

量が多い いっぺんにとはいかない

4の積みなおし 方針について 石垣構造 1から8

いっぺんにやると大変

いくつかに分けてやるか

1 根石部の安定化 1-6

名古屋城：先生声が聞こえにくい

北垣：ページを区切って、資料 1-6 までで思ったことを言って
聞こえますか

名古屋城：聞こえている

北垣：1-6

宮武：声がとぎれとぎれ どこで入っていいか

千田先生の背景はカッコいい

1-1 事前の検討会議、部会で検討したこと

項目の中でいくつか引っかかっているところがある

コロナの件 ブツ切れになっている

1-5 1-6

1-5 ステップ4と5 逆石 下の形に合わせて加工した可能性あり

現場からの意見尊重 逆石だけを加工したわけではない

オレンジだけでなくピンク どうもそうではない

逆石の角度変更しただけでなく、下もいったん外すか再加工した可能性

最終設計のため確認するため 部分部分をつりあげて

慶長期オリジナルでない場合 再検討

事務局 いまのところの見通し

設計を固めるため釣り上げる作業 大体いつ頃できるか

緊急事態宣言解除されていない中 名古屋市として厳しいが 目安は

北垣：事務局 回答できる範囲で

名古屋城：逆石調査

3月上旬 築石 栗石外す

下旬 現地で先生型のご指導

慎重に進めたい

北垣：3月上旬からはじめて約3週間

名古屋城：そう

宮武：3週間調査期間 裏栗を見たり

釣り上げた直後をみんなの目で見ることが重要

清掃してから会議はまずい
フレッシュな状態
調査先行だと議論ができなくなる
釣り上げる瞬間 委員が立ち合いの元で
みんなの目で見えて痕跡を考える
注意して

北垣：質問 これは重要なこと

名古屋城：日程調整して進める

北垣：続いて ほかは
5ページ6ページあたり

西形：1-6 新たに加わったのは4番5番
どういう方法、材料でやるのか決まっているのか

名古屋城：今後議論して材料を決める
おおむね砂系統でやろうかと思ってる

北垣：ありがとう
このあたりでよいか
特に逆石は課題 慎重によろしく
次に、石垣構造の検討 ご検討いただくことはないか
ないようなら修復勾配の検討
1-8、9に移りたい

千田：石垣の修理 終了後
東搦手馬出の表面 現状では木が生えている
表層の水を排水しよう
木などについてはどういうふうにされる予定か
1-14 金城温故録 芝生
馬出し 本来は広場的空間
機能からすればおかしい

北垣：事務局

名古屋城：史実に基づくと、樹木が生えていなかったのではないか

1-14 金城温故録 松という文字はある

ほかはない

全体整備検討会議 樹木をどうするか全体としてどうするか意見をいただいている

搦め手馬出しもどうするか考える

石垣を悪影響を及ぼしている樹木 早期に対策を考えたい

その時には先生に相談したい

北垣：それでよいか

千田：石垣の保全のために木をどうするか 大事

お城本来の馬出しである 機能 大事

木が大事 都心の重要な緑

石垣のことだけではなく、本来の在り方をどう戻すか 重要

北垣：事務局で検討を

次は石材の再利用方針

再利用をどうするか 現場では苦勞している

宮武委員からいろんな指導があった

宮武：先にやらないといけない議論が多すぎた

どこから石材を調達するか

1-11.12 角石 再利用が難しいもの

用材は離島部

あくまで築城時ではない

天和のとき どの山のどの岩質がよいか

現実入手できるか

どの程度議論されているか

名古屋城：石材の調達

名古屋城 搦め手馬出し 三河湾、小牧、尾鷲から調達

独自調査したところ、石垣に使えるような大きな石 取れない状況の山がかなりある

今後調達は議論させていただきたい

めどはたっていない

宮武：見当がついていない

仕事の上 角石が単価が高い

1個じゃない
隅角石もある
整備の全体計画 スケジュール
新年度の秋過ぎ 設計固めて石の数量もあげないと
どこから持ってくるか 愛知県外からの調達 ゼロではない
運送料もかかる
石工と調整を
歴史的にどこから調達したかは承知
今後どうするか レプリカ 早めにスケジュールを組んで

北垣：早急に取り組んでほしい
いかがか

宮武：議論 資料の後半も対象に入れているの？
石垣の再利用で止まっているのか

北垣：全部まとめてよい

宮武：赤羽先生手を挙げているが先にやる
搦め手馬出し 植栽の話に入っていいだろう
資料14.15 水処理を厳格に考えないと
金城温故録だしてもらって参考になる
城郭として妥当なありかた 植えるだけではなく
ないのではないか 早急に対策
桜は文政期に植えた
松
だからといって準拠すると、馬出として妥当
根っこが石垣を押す
千田先生のご指摘の通り
土手の部分 鳥観図 左上のモデル図
温故録 犬走がある
発掘調査で、段のようなあとがあったか
見落としていたら問題
当時発掘した人がいないから厳しいが わかるか

鈴木：学芸員から説明する

名古屋城：記録 武者走りは見つからない
鳥瞰図上は書いていない

宮武：櫓台根石

根石の下にのり面

不可思議な部分 犬走の名残の可能性

段として残っていないが、石罫としての接着部

意識されてみたことはないよね

図面も何もない チェックして

のり面にはないが、段の痕跡がないか

復元 見つからなかったが、江戸時代には犬走がある

必要なかどうか 意見として

質問 発掘 15ページ排水検討

⑩と⑥ 暗渠排水 柵状の遺構は見つまっている

現状ではどうなっているのか？解体して一時保管

名古屋城：一時保管している

宮武：復元する際、溜め枡として機能するか

劣化しているか？

内部の排水維持

遺構として体力が耐えられるか

まだやっていないか

鈴木：検討する

無理であればパイプを入れる

宮武：遺構の保全

排水機能が確保されない場合

別途保管してレプリカを作る 選択肢もなくはない

部会では議論していない

吐出口 C 枡が見つからない

トレンチ L 字状 門の下を石組み水路

L 字

この先にあるのか？トレンチで追っかけている

掘った人間ではなく申し訳ないが、枡がなくなっているのか

単純に堀

名古屋城：城として機能していた時ではない可能性
新しい
枅自体見つかっていない

宮武：1-17 来年度スケジュール
枅の所在 元のものなのか
水 判断する材料が足りていないのではないかと
結構な時間必要なのではないかと
最後の設計 判断根拠がないまま飛び込む可能性
できるだけ早めに
中がプールになってしまう
表土をかぶせると大変に

北垣：構造的なものを含めて 千田先生
本質的な価値
さらにいっそう考えて
資料1-17 流れの中でどのあたり 全体として収まっていくか
いろんな課題が双幅していく
折り合いをつけてもらう

西形：よろしいか

北垣：赤羽先生が先

赤羽：敷金 1-1 で結論を
1-15 図を見ると、③⑦犬走ではないかと
等高線を見る限り見られない
築城時、幕末期、今日
時代の変化 経年変化ととらえるべき
やめるのか、現況を表現するのか結論を構築する際は出さないといけない

西形：宮武先生排水計画
計算結果を見ると、流出量 毎秒37リットル
時間100ミリ
これくらいの流量が流れるとしたら、旧来の排水施設 難しいと思う
あらたなものを入れざるを得ないのではないかと

北垣：最近は全体的に温暖化の問題

現実に影響が出ている　しっかりと考えていただきながら検討する必要がある
ほかにはないか

時間的にも押している

搦め手馬出し修復についてはこれまでにしたい

時間が約1時間　休憩をしたい

10分くらい　45分くらいまで休憩

鈴木：14：45 から再開

14：36

14：45

北垣：皆さんそろったか

鈴木：座長お願い

北垣：天守台ボーリング調査について

鈴木：もう一回お願いしたい

北垣：皆さん聞こえにくい？

宮武：今はなんともない

北垣：事務局説明して

名古屋城：天守台ボーリング調査

前回回答ができず申し訳ない

2-1 2 ボーリング調査の目的

天守台石垣の保全や安定性の評価等を行うために
現状変更許可申請　資料をまとめてはいるが、

劣化や孕み出し

熊本城をみると、名古屋城でも石垣が崩壊する可能性

現状を把握し、保存方針を立て計画的に保存する

工学的解析が必要　地盤情報が必要

江戸期

地盤情報には限界がある

現天守復元の際も地盤調査がされている

拳動解析

来年度策定予定の石垣保全方針に役立てたい

2-2 ケーソン内部のボーリング調査

穴をあける以上は影響がある

天守台内部の盛り土などへの影響を最小限に

天守台全体の把握

現天守閣再建時 地層が乱されている可能性

ウォータージェットの可能性

2-5 写真 左の写真 地中に打ち込む

水を注入し、周囲の土を緩めてケーソンを埋め込む

半径1メートルちょっと 水を注入した影響が及んだのではないか

2-2 大天守 4つ中央には影響していないだろう 除外

北東 東側、北側

南、西側が選択枝に

ケーソンから遠ざかる位置に

南側が最もケーソン

南東ケーソン 北東と同様

北東側南面が最も良いと判断

小天守もウォータージェットの影響

北側が最善と考えた

地盤強度 1メートルごとにハンマーでたたく

標準貫入試験 目的最小限

2-3 どう行うか ボーリング断面図

高さ5メートルくらい 3本足のやぐら

1階の床を穴開ける

2階の天井を外す

小天守

2-4 ボーリングの機械

60キロハンマーを75センチの高さからたたく

PS 検層

2-5

ご承知いただければ、現状変更許可申請を出したい

15:02

北垣：ただ今の説明

SRC 天守を支持するのがケーソン
どうぞご自由にご意見を
予定が3時半まで 相当量の検討をしないと
できるだけ時間を節約しながら進めるとありがたい

赤羽：全体整備検討会議 ほかでも話をしたことがある
2018年 名古屋市東京事務所に行ったことがある
石垣部会、文化庁
ボーリング調査のことが話題になった
ボーリング調査の目的は、2-1 木造天守の構造解析にある
私はそう考えている
そのときも話題になった
無理やり石垣保全を理由にやるのは慎んでほしいと話し合った記憶
非公式 議事録がないと思う
私のメモにはある
石垣保全 目的としている 少し言い過ぎではないか
やはり、ボーリング調査 現天守の中で行われ、
基礎に食い込む
慎重には慎重を期してやるべき
石垣保全 前面に出すべきではない
この点について事務所からお聞かせいただきたい
2点目 全体整備 用いられる機械
2-4 図面
ボーリングマシン 掘削をするためのマシン
機械振動、音響振動 現天守、天守台石垣、土壌にどのような影響があるか
掘削に伴う機械の振動、音響振動について説明があるべき

北垣：赤羽委員から発言
事務局として申し上げることは

名古屋城：目的 木造天守の耐震性
それもあるが、石垣の解析もやる

赤羽：具体的にどういうデータをとるか
地震波 耐震解析は具体的
石垣の保全にどういう効果があるかわからない
むしろ、木造復元のための調査 よくわかる

逆に石垣の保全にとってどう役立つのか私たちにはわからない
変にすり替えているのではないか」

荒井：先ほども説明したが、木造復元の構造解析にも使える
石垣の構造解析にも使いたい
もともと天守台 ケーソンがなかった
戦後ケーソンが設置されている
ケーソンがある場合、ない場合
石垣の構造解析
孕む どこが弱いのか どう対策をとった方がよいか
どう効果があるか 構造解析に基づいて対応したい
どう対策をとるか考える
どう石垣を保全するか参考データをとりたい

北垣：ありがとう

赤羽：第2問目 機械振動、音響振動
ボーリングマシンについて

荒井：ボーリングの掘削の仕方
回転させながら 振動はごくわずか

赤羽：振動は出ないのか

荒井：はい

赤羽：具体的な数値で出してほしい
機械のことを数字で説明して

北垣：ありがとう

千田：名古屋市を叱りたい
資料の作り方がなっていない
大天守、小天守 ボーリング
どういう手順で委員会、市民に説明するか理解していない
この資料もそう
特別史跡 本質的価値は石垣

「この石垣を保全するためにデータを取りたい」
最初に述べること。まず述べること
次に、名古屋市は天守を木造にするという計画を持っている。
すでに文化庁と相談し、「ボーリングをして調査を得なさい」という指導を得ている。
こういう計画を立てないと駄目。
最初から解体のときの石垣の影響を書いては駄目。
なぜ総合事務所はわからないのか。
何年も前進ができないのか。
会議のかけ方が下手
何度も何度も同じことをするから、
赤羽先生のように鋭いことをつかれて答えられない
ちゃんと組織で考えて、委員会にかけるとか蓄積しないと前進しない

北垣：千田先生が要約された通り

資料 千田先生のおっしゃるとおりの形態をとって出して
第三番目 大天守台北面レーダー探査結果について

15：15

名古屋城：報告

文化庁からの指摘事項

背面空隙 不十分であるという指摘 追加調査した

昨年度後半 有識者の指導を得て、外観総合調査

孕み出し部分 レーダー探査に加えて、孕み出し部に限定して

今年度7月石垣部会で承認された

3-2.3-3 で整理

3-2 縦方向にレーダー探査

3-3 横方向にレーダー探査

土、モルタルがある

3-3

上部 まとまった空隙はない しまりが緩い部分

下部 栗石 土、モルタル

下半分

工学的検討を踏まえて解析したい

タイムスライス 3-4

反応を切ったもの

赤い部分 栗石

上 表面から1-1.5メートル 栗石と築石

2.0-2.5 真ん中に宝暦と慶長 栗石と築石

4.0-4.5 慶長と宝暦 裏の栗石層の厚さが違う

はしょってごめん

北垣：全体を読ませていただいても、縦線横線

各種調査 モルタルが詰まってる

「ゆるみはあるが、おおむね安定している」総合的な評価できそう

西形先生はどうか

西形：なかなか難しい話

これだけ大きな変状があるにもかかわらず、中に大きな空洞はない
安定している

慶長部分 裏はほとんどモルタルが詰まっている

膨らんでいるわりに構造としてはそこそこ安定

内部構造はよいが、石そのものの劣化

結果的には安定的ではないか

北垣：3-1 慶長の石垣と宝暦の石垣が重なっている

石の劣化 しかたない

おおむね安定している

ご意見はあるか

宮武：質問

技術サイドの人に

想定される状況 縦軸の下2メートル よくわからない

3-3 横軸 突然変わる

従来上からモルタル その反応はでていない

モルタル流し込んで、見事な別れ方をしている

栗ではないもの

スカスカのところモルタルを流し込んだか

どうしてこうなったのか 変化の意味はどう考えられるか

名古屋城：3-3 左端が0メートル

左端が石垣 慶長期の石垣のあたり 反応が出ていない

原因 レーダー派 強い 弱い コントラスト

土、モルタル 何らかのものが栗の間に詰まっている

宮武：なにゆえ突然変わるのか
線を引いたように変わるのはなぜ？

名古屋城：急激に反応が変わっている

宮武：モルタル
スパンと境目が

名古屋城：そう

宮武：不気味
塊が後ろにあるというイメージ
構造体として、接着剤が張り付いている
普通の石垣では健康体ではない
オリジナルから言えばおかしい

西形：部分的に構造が異なるものがある
モルタルを入れたら、グラデーションのような気もするが、
粘性が高い それほど広がらない
構造的にどうか
少なくとも、上部、中部にあるといや
下側にある 少しは状況としてはいいかな、というもの
解析をしないとわからない
下のほうなので、少しは安心かな

北垣：ありがとう
なかなか結論が出るものではない
課題はあるということ
どう進めるか
本丸内堀発掘調査成果について

15：33

名古屋城：議題4 本丸内堀発掘調査成果 報告する
文化庁からの指摘事項に対応する
担当より説明する

名古屋城：内堀発掘調査について説明する

一昨年度、昨年度に続いて3回目

昨年度 レーダー探査

今回 合わせてトレンチを設定する

反応については、資料図1 4-2

4-1 レーダー

赤 地下1.2メートル反応を示す

トレンチが合うように設定

昨年11月13日から現在まで調査中

W,X,Y、Z

南北報告 80-90センチ こぶし大の礫が密集

大き目の石材 ある面をそろえて並ぶ石列検出された

レーダー探査 礫が密集 強く反応したのではないか

トレンチのうち、北 W,X

南 Y、Z

つながっている石列ではないか

北面がそろっている

南に向かって長い

南側 南に面をもっている

北側に向かって長くなる

17メートルくらい

石列が発見された状況 4-3

堆積が安定している

戦争の堆積、旧堀土 近世層

下から石列

4-5.6.7 同じような礫群

石垣に向かって伸びるトレンチ

北の石列 状況が出ている

W トレンチ設定

X 適当な位置にずらした 北1メートル

どこまで調査を行うか 部会、文化庁から意見

石列 東西方向のトレンチを追加して調査と指導を得た

Z トレンチ 当初の位置 石列とずれる

Y トレンチ 新たに石列 調査するという事で文化庁に

現状変更許可手続きをしている

資料 4-4.4-6

W トレンチ 御深井丸石垣 2メートルで途切れる

小さい礫を除いてはがしたら、さらに含まれる

石材は見つからない
Xトレンチ
直行方向でつながっている
ほかの石より高い
大天守とすりつくような石列
現在の調査範囲では確認していない
Y,Zトレンチ 必要なトレンチを調整しながら調査継続
まとめ 石列気づいたこと
大きいもので14個
石種 正確なところはわからないが、表面的観察
花崗岩 三河湾産地である可能性
刻印は発見されていない
矢穴も大き目
石材のそろった側 角度54度～57度くらい
大天守台 57度くらい
礫群、石列検出 江戸時代の土の中
根 立ち上がりは築城時ではないか
以上

15:48

北垣：ありがとう

事務局からなにかないか

村木：目的 現状変更許可の必要な範囲内

一つのめどかなあ

先生方にはまたご指導

評価 慎重に検討した方がよい

報告できなかった

北垣：文化庁 現状の中でお話されることはないか

文化庁：私からは特にいえない

整備に伴ってどこまで調査するか

ずっとここが気になって調査

どこまで調査が妥当か検討を

北垣：こちらで追加調査するというのであれば

注目すべき報告

文化庁 追加調査という話でやっている

石垣部会としては、保護、保全の枠として掘り進めてきた

大々的にしなさいという意見は出ていない

遺構そのものの価値 本当なら進めたら出てくると思う

現状としては、ここまでは実施してきた

文化庁判断 どうしていったらいいか 書類的に時間かけた方がよいか

文化庁：おっしゃることは分かる

天守台石垣 どうすりついているか

西 どうすりついているか

あまりそれ以上はどうかなど思っている

両石垣にどう影響があるかは調べるべき

北垣：事務局は上記を踏まえて検討を

村木：遺構自体保全

どう埋戻しするか ご助言いただければ

北垣：文化庁 大まかな方向性はうかがえた

現在残されている 発掘調査されたまま

埋戻しに入らないと

どうすればよいのか

建設的な意見があれば

千田：今回の調査で重要なことがわかった

従来「空堀の底」

木造で再建、現天守を解体

空堀を埋め立てて

完全に危うくなった

遺構を保全しながら、足場組んで

成り立たなくなった

足場を組むのであれば、普通のように埋め戻せばよい

空堀の保全 万全の対策をしないといけない

古い時期の石 遺構であるとわかった

かなり大事だと思う

この部分 どこまで調査するか

やはり整備計画 天守をどうすればよいか

足場を作る

これは何なのかはっきりしないと、どれだけの保全策をとるか
判断しがたい

範囲、性格をつかむまで調査すべき

石垣に接したところ 保全措置を急ぐべき

かなり大事な発見 市民の方、報道機関の方
公開することも必要

時間がないので申し訳ない

資料の作り方を考えて

資料 4-9 5メートルの真ん中 小さな尺

2.5メートル これはない

A4のほう 中を4つに割っている

30メートルなら3つ

わけのわからないスケール

どういう風に図面を作っているかわからないが

ちゃんとした図面を作らないと

学術レベルの問題

15:58

北垣：千田委員の話があるが、中井調査官から指摘もあるので
十分考えて

宮武：この調査 堀底かく乱

新しく検出された遺構に目が行くが、

かく乱 残材が放り込まれているところ おいておいてはこまる

この上で何をするか

今の現状の特別史跡 安定しているか

W 不安定 4-4

根石に潜り込んでいるのかどうか

遺構が

不安定な状態で御深井丸石垣が乗っているのか

安定策をとるための調査

遺構 表面劣化 なにがしかの緩衝材をいれるとか

遺構 永続的な保全 追加調査

のべつまくなしあれもほってこれもほってになる

トレンチ Wトレンチの北 一回トレンチを入れた

石垣角にコーナーがでた？

木村：出ていない

築石

宮武：隅角部が先行ではなく、面通りのよい築石があった

木村：その認識

宮武：北側

堀に先行するもの？

可能性を組み立てて、保全方法のためにどう進むか
かく乱の部分どうするかの議論は進んでいない

北垣：いろいろ意見をうかがっている

まとまってきた 残された遺構

安定しているかどうか 押しなべて大事

そういう問題 絞って文化庁が言われるような

調査を拡幅した方がよいかご相談いただいて

どこまでやらないといけないか

この議論もしたいが、時間見たら 16:05

大幅に時間超過

名古屋城：お時間がだいぶ超過している

もしよければ最後の議事 報告をさせていただきたい

北垣：5番はよいか

村木：過去の整理

読んでおいて

北垣：5番は読んでおいて

西之丸

名古屋城：報告 西之丸蔵跡追加調査について

名古屋城：来年度展示収蔵施設 外構整備

平面表示のため発掘調査

簡単に報告

結論部分 資料 6-8

一番蔵、二番蔵、五番蔵、六番蔵の推定位置表示

今回は追加調査 その部分を調査

一番蔵 A,B,C 雨落ちも

二番蔵 証拠が見つからない 広めに調査する D,E,F

五番蔵 断片的に見ついている G,H

六番蔵 毀損事故 北に延びるのかどうか

長さや位置 把握できていない I,J,K

L区 金城温故録 過去に水路

痕跡を探したい

調査面積 すべて足すと 530 平米くらい

来年度 5月から 4か月くらい

2月9日 全体整備検討会議で承認された

報告は以上

宮武：非常に大切なこと

埋蔵文化財部会 試掘についても審査すべき

「全体整備検討会議で承認を得た」

六番蔵の損壊

蔵跡を表示するための

さらに調査

鈴木：表示 変更を検討する

整備については全体整備検討会議でご議論したい

整備の一環として全体会議で議論

埋蔵文化財 この部分を報告した

ご意見を伺いたい

宮武：集計表示をするという方法

部分的な遺構

あるのが分かった どうしようとしているのか

面として調査

トレンチ部分だけ

二度目もやるのは無駄

何回も

ビジョンはあるのか

どこに遺構がどこにあるか把握せず

一番蔵 形状

もう少しまともなトレンチの入れ方を検討しないと

集計 検出して抜けを補う

次の段階 面的調査する

どういうプロセスで集計表示をするか

全体整備検討会議のmatter

埋蔵文化財部会 「好きなところ入れてください」にはならない

保全するには掘らなければ一番よい

鈴木：トレンチで推計して遺構表示したい

宮武：地下に眠る遺構はおいておいて、疑似で表示する？

鈴木：そう

宮武：疑似を行う上で、安全保全をとるためか

鈴木：蔵跡 除却に伴って、残存状況が悪い

昨年度まである程度調査 ほとんど出ていない

一部のたたきのみ

今回の調査 事故を受け、もう一度残存物がないかトレンチを用いる
なかった場合、もしくは推測が可能 それをもって疑似的表示にする

宮武：下部の遺構 把握できるか

千田：名古屋市に根本的に再検討をお願い

名古屋城 埋蔵物部会

何目的でも部会の審議を経て全体

整備目的

全国の特別史跡でない

考え方がおかしい

目的、整備 それでできるのか 根本的なことでできていない

前のとき ちょっとしか

規模も構造も発掘できてない

平面表示

毀損事故がなければできていた
学術的な根拠がなく表示
同じ事故起きるし、整備したものがいい加減なもの
どう防ぐか 専門部会で審議して全体 それを経て文化庁に申請
一つ一つ手順を踏むしかない
失敗をしているのにまた部会の議論を飛ばして、
報告議題でやる
なにも反省していない 中身が理解できていない
全然ダメ 部会に戻してやらないと
不愉快そうな顔していてもだめ
改めない和不愉快な顔しててもだめ
ちゃんと考えて

鈴木：わかった

宮武：リモート 話しているときの顔がわかっちゃう
遺構 疑似
設計を引いて、表土をはぎ取る
もし一石でも石列が出た場合、ぶつかる
設計変更か、六番蔵の再現
余計ややこしい 現実起こりえること
スキームを見直した方がよい 総合事務所としてもよい

北垣：大変な参考意見
大変進行がまずく、オンラインやることがない
大変ご迷惑をかけた

千田：特別史跡内 発掘調査
整備目途であり、開発目途であれ、
石垣埋蔵文化財部会の議論を経る 座長から確認してほしい

北垣：経緯を踏まえ、特別史跡 どうあるべきか
意見を反映して、追加調査について

鈴木：今回失礼した
報告題→審議題にする
これを含め埋蔵文化財の件は 部会に諮る

北垣：私の役割は終わり

鈴木：時間超過 ありがとう

以上 部会終了

16：24

千田：その前に調査官から一言

文化庁：コロナ禍で現場に行けなかった

馬出でいうべきだった 傾斜効果面 盛り土 注意したうえで切るべきか
追加

あとは、資料も、指摘あった通りだと思う

ウェブ会議 だと、順序だてないと意見が交わせない

資料作り 大切だよと言いたかったんだと思う

面と向かってわかりやすい

資料作り ほかの会議でも経験した

続くことがないように

資料作り お互い

きになれば事前に言う

ご苦労様でした

鈴木：本日の会議は終わり

16：26